

# 会 議 録

## 1 会議名

令和2年度 第7回金谷区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 自主的審議事項「金谷区の防災機能強化について」（公開）
- (2) 令和2年度地域活動支援事業 審査・採択等の振り返り（公開）

## 3 開催日時

令和2年10月28日（水）午後6時00分から午後7時50分まで

## 4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

## 5 傍聴人の数

2人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：村田敏昭（会長）、川住健作（副会長）、山井広子（副会長）  
石川美恵子、石野伸二、大瀧幸治、神崎 淑、小堺涼太、小林雅史、  
高橋敏光、高橋 誠、高宮宏一、土屋博幸、平良木美佐江、山本一男
- ・ 事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、田中主任

## 8 発言の内容

### 【田中主任】

- ・ 加藤委員を除く15人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は村田会長が務めることを報告

### 【村田会長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 会議録の確認：石川委員、山本委員に依頼  
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

### 【堀川センター長】

- ・資料により説明

**【村田会長】**

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

— 次第3議題（1）自主的審議事項「金谷区の防災機能強化について」 —

**【村田会長】**

次第3議題（1）自主的審議事項「金谷区の防災機能強化について」に入る。前回の会議で、「金谷区の防災機能強化について」が自主的審議事項として承認された。会議の場ではなかなか発言しづらい委員もいるかと思うので、本日は2グループに分かれて今後の取組について、具体的に何をどういう方法で行っていくかを協議していきたい。本日出された意見は、正副会長と事務局でまとめて、次回以降の会議で皆さんにお示しし、協議を進めたいと思う。

ただいまの説明のとおり進めることでよいかを諮り、委員の了承を得る。

資料について事務局より説明を求める。

**【田中主任】**

- ・資料No.1により説明

**【村田会長】**

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

では、グループに分かれて協議を開始する。

— 2グループごとに協議（50分間） —

**【村田会長】**

それでは、グループ協議で出た意見を各班5分程度で発表してもらおう。A班の発表を求める。

**【川住副会長】**

A班はまず、避難所・備蓄品について協議した。ぜひ、市から説明を聞きたいとの意見が多かった。特に聞きたい内容として、災害時に市からどこまで対応しても

らえるか、避難所を開設した後は市がどこまで関わるかを確認したい。また、備蓄品の数はどのように決めたのか、その根拠を聞きたい。段ボールベッドについて、避難所は体育館が主であるため、数を増やして欲しいとの意見もあった。また、避難所の看板について、例えば避難所となっている小学校の入口に「ここは避難所です」との表示が現在あるかどうか。見た記憶がないため、そういったものが必要だと思う。次に、各町内の防災担当についてである。ある町内では、本部長が誰でものような仕事を担当するかといった細かい事項を決めて行動している。そういったものが必要ではないかとの意見もあった。また、いろいろな備品を購入した後に、例えば発電機であれば燃料が入っているか、エンジンがかかるかといった点検を防災士に頼むなど、何かの機会に点検をすることも必要だと思う。備品をたくさん購入してもなかなか管理ができない。管理をする人や正常に動かせるのかといった点検等も必要になってくるのではないか。また、備品の数は、あれも欲しいこれも欲しいといっても、市の一定の基準の下に決められた数がある。これを変更するには、議会等も絡んでくると思う。個人的な意見だが、金谷区全体が一斉に被災する程の災害が起こる可能性は少ないと思う。そのため、金谷区内の28町内で、必要としている避難所と余裕のある避難所間で備蓄品等を融通し合えるような体制があればよいと思う。地域協議会で、どこにどのようなものがあるか詳細を把握できれば、うまく融通し合うことができ、少ない備品数でもやっていけるのではないかと個人的には考える。

#### 【村田会長】

B班では多くの活発な意見が出たが、取りまとめた結果、地域協議会としてこのようなことを行ってはどうかという結論が1つだけ出た。それは資料No.1の「各町内における自主防災組織の充実」に関連して、町内会のリーダーや防災士との意見交換会を呼びかけ、地域協議会として現状を把握してはどうかと思っている。それに基づき、行政からの現状説明を聞くのと同時に、次なる強化に繋がる道筋を協議していつてはどうかとの結論が出た。ただ、金谷区内には28町内あるため、全町内では出席者が大勢になることが想定される。そのため一案として、北部・中部・南部と分けて実施する方法もあると思う。とりあえずは、意見交換の場を設けるとの結論に至った。B班では様々な話が出て、防災についての内容は奥深いものがある

ると改めて実感した。

今回出た意見をもとに正副会長と事務局でまとめ、次回以降、実際に地域協議会で取り組む内容を決めていきたいと思う。以上で次第3議題（1）自主的審議事項「金谷区の防災機能強化について」を終了する。

#### —次第3議題（2）令和2年度地域活動支援事業 審査・採択等の振り返り—

##### 【村田会長】

次に、次第3議題（2）令和2年度地域活動支援事業 審査・採択等の振り返りに入る。今年度の地域活動支援事業の審査・採択は、新規委員10人、経験者6人の中で行われた。各委員からいろいろな感想等を発言してもらい、新年度の地域活動支援事業の審査・採択につなげていきたいと思う。

石川委員から順番に発言を求める。

##### 【石川委員】

これはどうなのかと思う提案事業が何件かあった。無理かもしれないが、提案の内容が事前に把握できればよいと思った。ただ提案書を見て自分で考えている内容と実際にプレゼンテーションで聞いた内容とでは、若干の違いがあった。個人的には、このような提案事業に補助金を出してよいものかと思うものが何件かあったため、もっと委員で共有できる仕組みづくりができればよいと思った。具体的なことはいえないが、例えば事前に地域協議会で話し合いができれば、またニュアンスが違ったのではないかと思う。その場で審査するしかないため、これは問題だと思う。補助金は税金であり、困っている人もたくさんいる。個人的には、こんなに簡単に補助金を交付してよいのだろうかと思っている。

##### 【石野委員】

石川委員の意見について補足する。過去に、プレゼンテーションを行う前に会議を開いて、個々の提案事業について意見交換を行ったことがあった。自分もそれは必要だと思っている。

今回の審査云々よりも、1つ懸念されることがある。基本審査は「適合しない」とした委員が過半数となった提案事業は不採択となる。そのあとに採点を行うが、

平均点以上を取らなければ認められず、平均点未満の提案事業は全て不採択となる。前期でも意見したとおり、そこは協議の場を持ち、不採択とするか、または減額対応とするか等、ある程度幅を持たせてもよいのではないかと考えている。要は、平均点は委員の過半数ではない。単なる点数付けでの平均点である。地域協議会としてそこは協議を行えば、救える提案事業もあるかもしれない。そのような観点からも、若干見直してもよいのではないかとと思う。

#### 【大瀧委員】

地域活動支援事業については、今まで地域協議会だよりで読んでいたが、実際にどのような経過を経て補助金が決定するのか言い方は悪いが関心がなかった。令和元年度の実績を見ると、市の予算で実施できなかったのかと思う事業や学校の教育授業であるにも関わらず、なぜ地域活動支援事業に提案するのかと思う事業がある。そのようなことを考えながら、先日、春日謙信交流館で行われた上越市まちづくり市民大学OB会主催の「28区のまちづくり、もっと知りたい地域協議会」に参加した。その中で、本来は市の予算でやるべきことが、地域協議会を通して意見が挙がらない限り市は知らない顔をしているというようなことを聞いたため、頭の中が混乱した。よいのか悪いのか、また、地域協議会委員として今後はどのような方向へ考えていかなければならないのか、改めて勉強し直さなければならぬと思っている。

#### 【神崎委員】

今年度から初めて地域協議会委員になったため、いろいろなところでいろいろな団体が、いろいろな活動をしていることを知り驚いた。自分は採点する側であったため、提案団体が過去にどのようなことをしているのか事例等を事前に調べてから採点に臨んだが、地域協議会委員というだけで採点をする権利があるのかすごく引っかけた。自分の力量がないだけかもしれないが、提案事業の活動内容が多岐に渡っているため、補助金をその事業に使うことが妥当か判断をする基準が自分の中にはなく、判断が全然できなかった。今回は全事業が採択される範囲の補助希望額ではあったが、採点して順位をつけることを自分たちがしてよいものかすごく疑問に思った。予算配分額に達していなくても、先ほども石川委員の発言にあったように補助金は税金であるため、全部が全部、採択としてよかったのかという思いもあ

る。そのため、地域協議会委員が採点をするのではなく、専門家というわけでもないが、外部の人や企業の人等に採点に加わってもらってはどうか。ただ、自分たちも金谷区の住民であり、地域協議会に参加している。自分たちができることは何なのかを考えたときに、これまで地域活動支援事業に提案した団体の過去のデータを見てみると、ピンポイントで頑張っているだけで広がりがなく感じる事業が多いと思った。そのような提案があった際に、その活動は既に実施しているため連携してはどうかといった提案をすることは自分たちにもできると思った。そういう仕組みがあるとよいと感じた。

#### 【小堺委員】

自分は参加がなかなか難しく1回しか審査ができなかった。その中で、1度説明を受けて点数をつけ、地域活動支援事業が決まり、それで補助金が出るということについてこれでよいのかと感じた。ただ、自分自身今回は参加して採点するだけで精一杯であったため、それに対して特に意見はない。

#### 【小林委員】

自分も今年度から地域協議会に参加している。審査の前に過去の実績を数年間さかのぼり、金谷区のみならず他の地域でどのような事業が行われているかを調べた。そんな中で自分の価値観を持って臨んだが、やはり過去の実績に押し流された面が多々あった。過去にこの事業が成立しているのになぜ今回は駄目なのかとの声が聞こえてきそうで、少し自分の価値観から流されてしまった面はある。ただその中でも点数に差はつけたつもりである。

1つ質問だが、今年度の地域活動支援事業に対する振り返りは、この1回のみで終わりか。

#### 【田中主任】

今回は全委員の感想を聞いているが、本日話しきれない細かな部分もあると思う。全委員の感想を聞いた後、各委員から意見を出してもらおうよう、このあとその流れについて事務局から説明する予定である。

#### 【小林委員】

やはり自分たちが審査・採択をした以上、その活動のその後にも我々は責任を持つべきだと思う。各自がそれぞれの思いがあって採点をしたのだから、その事業が

どう進んだか、本当であればこうなっていたほうがもっとよいのではないかとの想いもあると思う。逆に、本来はこの提案事業に補助金を出すべきではなかったとの想いもあるかもしれない。事業が終わった後で、我々が個々の事業に対して再検討する必要があるように思う。その再検討を繰り返しつつ、もし、今まで間違っただけなのに補助金を出していたと感じるなら、少しずつでも方向を変えていけるよう地域協議会として考えなければならないと思った。

**【高橋敏光委員】**

今年度の地域活動支援事業については、昨年度の続きの事業の他にもいろいろあったと思う。それぞれの立場で、それぞれの想いを持って活動されたと思っている。まだ終了していない事業もあると思うが、終了した事業については、十分な活動がされたと思っている。ただ、その活動自体がどうなのかと思う内容の事業もある。今後、金谷区が発展する事業や住民が金谷区を愛する気持ちを持ち、金谷区に住んでいてよかったと思えるような事業が展開してくれることを期待している。

**【高橋 誠委員】**

内定一覧を見ると、基本審査で「適合しない」とした人や優先採択審査で「適合しない」とした人が多数いる提案事業がある。「適合しない」という判断が、実際にこんなにあってよいのか疑問であり、自分にはよく分からない。その辺は今後、機会を見て説明してほしいと思っている。地域活性化のための予算であるため、「適合しない」とした人があってはならないとまでは言わないが、本来少なくて当然ではないかと感じている。今年度審査した事業の中にも、どうかと思う事業が何件かあったが、地域活性化の目的を考えて過去の実績等を勘案して採点をした。今後、もう少し勉強をしながら指導いただければと思っている。

**【高宮委員】**

令和2年度については、自分としては大変素晴らしい提案内容であったと思っている。金谷区は南部・中部・北部と非常に広いエリアである。その広いエリアの中において各地区に必要なものがあり、地域活性化に結びついたため大変よかったと思っている。

**【土屋委員】**

自分は違う観点での振り返りになる。年度当初に、4年に1回の上越市議会議員

選挙や地域協議会委員の公募で申込みが多い場合、前期では高田区が、今期では板倉区等で選挙があった。こういったことを考えていると、スケジュールに全く余裕がない。地域活動支援事業に提案する団体は、今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、地域活動支援事業が実施されないと思ったくらいである。そのような状況の中でも提案してきた団体があった。4年に1回ではあるが、選挙がある時には地域活動支援事業の申込み期間を少しずらす等の対応をしてもよいと思う。議会で予算が議決されないと地域活動支援事業も出発できないと思うが、ほっと一息ついて蓋を開けてみたら、既に地域活動支援事業を締め切っていたような状況であった。自分自身の反省も含めて、今年度はよくわからないまま審査に入ってしまった印象がある。4年に1回、このようなことを繰り返すことに関して、検討してほしいと感じた。

#### 【平良木委員】

今期から地域協議会委員となったため、勉強をしながら進めてきた。これまでに金谷区で改善されてきたことを感じながら話を聞いていた。プレゼンテーションを実施していない区もあるようだが、金谷区では提案者の生の声を聞くことができ、よかったと思っている。審査は難しく、悩みながら採点した。その中で2点、迷ったことがあった。1つ目、提案団体は非常に一生懸命だと感じたが、地域活動支援事業の補助金を使うべきなのか、行政・他団体・各個人参加者が負担すべきものではないかと思う提案があった。2つ目、提案事業が地域や住民に貢献しているか、地域に活かされているか、疑問に感じたものもあった。自分なりの基準で審査したため、よかったかどうか分からない。今年度は予算配分枠内であったため、余程のことがなければとの気持ちもあったが、自分なりに各事業の点数で差を付けたつもりではある。こういったことについて、他の委員はどのように考えているのか勉強したいと思っている。

#### 【山本委員】

今期から地域協議会委員となり、よく分からないまま審査をしてきたが、やっとこの頃、少しは分かってきたような気がする。ただ、審査は面倒であった。次年度も地域活動支援事業があるなら、改めて勉強したいと思う。

#### 【山井副会長】



地域活動支援事業の審査は、本当に大変だと思う。市の肩を持つわけではないが、地域活動支援事業の受付をする際にしっかりと事務局でチェックをしていると思う。過去に自分が提案した際にそうであったが、ひとつずつ照らし合わせて合致しないものは、おそらく受付の時点でダメだと思う。そういうことで、よいと判断したものもある。点数をつけることは非常に難しかったが、土台は資料をきちんと読んで審査したつもりである。

**【川住副会長】**

これまでは防犯灯のLED化という大きな事業があったため、予算配分額が余ることはあまりなかったが、今年度は49万円ほどの予算残額が出た。予算残額が出るのは久しぶりである。今年の特徴として、新しい試みの提案が何件かあったと思う。新しい提案に対する委員の考え等をしっかりと話し合い、こういった内容についてはこうだという話し合いが、今後は必要になってくると思っている。自分が関係した中で、南葉高原キャンプ場でのキャンプ体験教室 地域観光事業は、非常に正解だったと思う。ただ、屋外での事業であるため、悪天候で1週間延期となった。来年もやってほしいとの意見が多数寄せられたため、再度検討して来年もできればよいと考えている。

**【村田会長】**

各委員から貴重な意見が出た。意見にもあったように、確かに自分が採点をしてよいのかと思う部分もある。そんな力量があるかと自問自答をしながら取り組んでいることも多いが、少しでも勉強をして、申請された事業に対する理解度を深めていく必要があると思っている。幸いにも850万円の予算内に収まってはいたが、最終的に各自採点した結果として採択事業が決定した。基本的にはよかったと思っている。

では、地域活動支援事業の審査・採択のルール等の検討に向けた今後の流れについて、事務局より資料の配布と説明を求める。

**【田中主任】**

- ・資料配布
- ・資料により説明

**【村田会長】**

振り返りで発言した意見のほかに意見等がある委員は、期日までに提出してほしい。その結果を踏まえて正副会長と事務局で整理をし、次回の会議で示した上で見直しについて検討を進めていきたいと思っている。

ただいまの説明のとおり進めることでよいかを諮り、委員の了承を得る。

以上で、次第3議題(2)令和2年度地域活動支援事業 審査・採択等の振り返りを終了する。

#### —次第4 事務連絡—

##### 【村田会長】

次第4 事務連絡について、事務局に説明を求める。

##### 【堀川センター長】

- ・次回会議：11月25日(水) 午後6時から 福祉交流プラザ
- ・当日配布資料：金谷区地域協議会だより第43号(10月25日発行)

##### 【村田会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

#### 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課

南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

#### 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。